

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.4
H27.5.15

集中する姿・・・可能性が広がることを感じてうれしいですね

子どもたちは授業中にいろいろな姿を見せてくれますが、思わずじっと見ていたくなる姿、聴いていたくなる発言・話し合いがあります。じっと見ていたくなる姿とは、子どもたちが「集中しているな」と感じる姿です。たとえば、

- 先生の話や友だちの話の中身をしっかりと聴こうとしていたり、聴きながら一生懸命に考えたりしている。
- やることを精いっぱい取り組もうとしている。(運動、様々な作業など)
- 自分の思いや考えたことを友だちや先生に伝えようと話している。



このような姿は、子どもたちが可能性を高めている姿であり、成長する姿そのものです。ですから、その場に出会うととてもうれしくなります。

集中している時は、脳が活性化している状態といえます。

学校におきましては、授業や活動においていかに集中して学ぶか、すなわち脳が活性化する状態をつくるのが大切なポイントです。「分かりやすい」「活動する場がある」「がんばろうという意欲がわく」などと感じるような取組を積み重ねながら、集中できる力(子ども自らが『自分から物事に気持ちや注意を集中させる』ことができる力)を高められるよう努めたいと考えています。

ご家庭におかれましても、次のことは「集中する姿」につながるものとして、ご確認いただくとともに、ぜひ進めていただくようお願いいたします。

- 学習に向かうための脳のエネルギーを確保するため、早起きをしてしっかり朝ご飯を食べるといったことをはじめとする生活習慣を定着させる。
- 達成感や意欲をもって学習にのぞめるよう、「家庭学習の手引き」(4月配布)を参考にして、家庭学習で子どもたちに声を掛けたり、子どもを認めたりする。



春の日差し、輝く緑、気持ちよい遠足。。。4月28日(火)

初夏を感じさせる日差しのもと遠足を実施することができました。遊ぶと汗ばむものの陰に入れば爽やかで、気持ちよく活動できたのではないかと思います。

1・2年生・・・日永中央緑地公園

この日の緑地公園は、どの広場も多くの子どもたちでにぎわっていました。きっとこのシーズンで一番多かったのではないかと思います。私が訪ねた時は、子どもたちは芝生の広場で遊んだり、木陰でお弁当を食べたり楽しそうに活動していました。特におうちの方に作っていただいた弁当を幸せそうに食べている様子は、見ている私も幸せになりました。



3・4年生・・・霞港公園・シドニー公園

1・2年生とは対照的に、3・4年生は霞港公園・シドニー公園に本校だけでした。いわゆる「貸し切り」の状態です。「こんなこともあるのだ。」とびっくりしてしまいました。子どもたちは大型の遊具や広場、そして池を思うままに使って、存分に遊ぶことができたようで、どの子も満足気でした。往復の歩く様子もこれまでよりしっかりとできて、成長が感じられました。

5・6年生・・・羽津山緑地垂坂公園（北の広場）



公園の北の芝生広場が目的地です。この時期にしか見られない木によって微妙に違う緑が織りなす山の景色は本当にきれいです。そんな緑に包まれた中で、ボールを使ったり、鬼ごっこをしたりして楽しく遊ぶことができました。帰る前に「来た時よりきれいにしていこう。」とみんなでゴミ拾い。「探してみるとあるものだね。」と小さなゴミもていねいに拾い集める姿がとてもよかったです。



生き物との関わりは学びの宝庫・・・子どもたちのことばから

日頃、子どもたちと出会うと、いろいろなことを話しかけてくれます。今の季節は、生き物や植物との関わりで気づいたり、感動したりといったことを話してくれる子どもが何人もいます。自然からの発見や、学びは子どもたちの成長にとっても大切なことだと思います。話してくれたことを受け止めて一緒に自然を楽しむようにしたいものです。

最近の子どものことばから

- 「チョウが弱っていたので花をあげようと探しているの。どんな花がいいかな。」
・・・チョウは飛んで行ったそうですが、どんな花をやるとよいのか探していたそうです。
- 「（ティッシュペーパーにまだ羽毛がなく、卵からかえって間もないヒナをくるんで）道に落ちて死んでいたの、埋めてやろうと持ってきたの。これからみんなでお墓をつくってあげる。」
・・・10人くらいでお墓をつくっていました。
- 「わたしのアサガオの芽が出てきたよ。うれしい。」「わたしのも早く出てきてほしいな。」
・・・毎日、日によっては2回、3回見に行くのだそうです。
- 「（ゴーヤの種をまいてあるポットをじっと見ていて）ダンゴムシがいっぱいいる。芽を食べるのじゃないかな。おばあちゃんが言ってたよ。」
・・・確かにダンゴムシが新芽を食べてその後成長しなくなることがあります。
- 「これ！ダンゴムシ。このダンゴムシはオス。」「どうやって見分けるの？」「オスはこれみたいに、背中が真っ黒。メスは色が薄くてしま模様があるの。」
・・・確かにこの見分け方でいたい間違いなくわかるそうです。

学校の内外に「オオキンケイギク」を見つけます

この時期になると、体育館の裏や学校周りの歩道に鮮やかな黄色の花が咲きます。コスモスの形に似た花で、名を「オオキンケイギク」といいます。北米原産で明治時代に鑑賞目的で輸入されたそうです。この植物は非常に繁殖力が強く、日本の生態系に重大な影響を及ぼす植物として、外来生物法による「特定外来生物」に指定されています。よって、栽培は禁止されています。毎年意識して種がみのらないうちに処分するようにしていますが、今年も学校の東の歩道に大きく成長して花をつけていました。見つけたら次のように対応するとよいようです。

- 花が咲く5月～7月頃に、根から抜き取る
- 2～3日天日にさらすなど枯死させる
- ビニール袋などに密閉して燃やすごみに出す（四日市市ホームページから）

